

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真 1）（表 1）などと文中に記載し、右ページに（写真 1）（表 1）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. B-35

部門名：	エントリー名：
働き方改革実践部門	奈良女子大学附属中等教育学校
活動名： オープンスクールの刷新 みんなが主人公となり、業務効率化	
解決すべき課題：「働き方改革」「学習観の転換」「チーム学校」を三位一体として実現する事業刷新	
オープンスクール事業は、本校の特色を社会に伝える重要な場の一つである。しかし、本事業にかかるコストはじつに大きい。具体的にいえば、教師による体験授業が中心であるために、事前準備および休日出勤が必要となること、また、全校体制で運営にあたる形態が続いているからである。私たち事業広報部では、本事業を「働き方改革」の視点のみならず、「学習観の転換」「チーム学校」の視点から刷新することを課題とした（図 1）。	
目標・方針：「みんなでつくるオープンスクール」	
課題解決にあたって、「働き方改革」の目的は学習指導の質的向上にあり、業務効率化は手段であるとし、この目的と手段をつなぐためには本事業における教師と生徒、保護者との関係を見つめ直すことが必要であると考えた。この方針を「みんなでつくるオープンスクール」と概念化し、以下の 3 つの目標を定めた（図 2）。 (1)オープンスクールの設計思想を「教師が何を教えるか（コンテンツベース）」（体験授業中心）から「生徒が何ができるようになるのか（コンテンツ+コンピテンシーベース）」へと刷新する（「学習観の転換」）。 (2)保護者ボランティアと生徒を本事業の参画者とすることにより、運営にあたる教職員数を現状の 46 名から 20 名程度まで削減する（「チーム学校」）。 (3)現状の参加者数約 1000 名の維持と事業内容の刷新を両立させる（業務効率化の実現）。	
活動内容：教師と生徒、保護者、卒業生との協働に基づく業務効率化	
(1)「学習観の転換」については、体験授業を廃止し、生徒による報告（①中 1 と高 3 を除く各学年による昨年度の自分たちの学びについての報告、②SSH などの特色ある活動の報告、③生徒有志による特別活動等の報告）とした。(2)「チーム学校」については、保護者ボランティアによる運営協力のみならず、オープンスクールの事前申し込み業務についても、大学院で情報処理を学ぶ本校の卒業生である安浪涼花さんに協力をえることにより、Web 事前申し込みシステムを構築し、業務効率化にあたった。	
活動の成果：業務効率化による事業そのものの充実と二つの新企画の誕生	
量的成果（表 1）としては、参加者数約 1000 人を維持しつつ本事業を刷新できた。業務効率化については、①Web 事前申し込みシステムにより事前準備時間数を 120 時間削減、②当日運営にあたる教職員を 20 名まで削減（うち 5 名は半日勤務）。また、二つの新規事業（「小 6 保護者を対象とした本校教員によるグループ相談会」、保護者ボランティアによる「保護者カフェ（本校保護者による相談会）」）を設けることができた。質的成果としては、参加者からは「6 年一貫教育における生徒の成長過程がよくわかった」「自主性と主体性を育てる教育方針がよくわかった」「この学校ならではのオープンスクールだった」という感想が数多く寄せられた。教職員からは、休日出勤数削減を評価する声のみならず、「学習観を見つめ直す機会となった」「グループ相談会がよい研修の場になった」との声が寄せられた。参画した生徒からは、自分たちの学びを通じて未来の後輩に語りかけることができたことの喜び、学校の担い手として活躍できた充実感を語る声が数多く寄せられた。	
アピールポイント（アイデアや工夫）：このようなオープンスクールの設計・運営方法、いかがですか？	
・仕事を減らすのは手段であって目的ではない。目的は学校全体における学習指導の質向上にある。 ・「働き方改革」「学習観の転換」「チーム学校」を三位一体で進めることができる。 ・個々の教師の日々の実践の成果、保護者の営為は生徒の報告の中にモザイク状に埋め込まれている。 ・自分たちが主人公となれば、創意工夫が喚起され、改革・刷新の原動力が生まれる。	

図 1 課題への向き合い方



図 2 設計思想・「みんなでつくるオープンスクール」

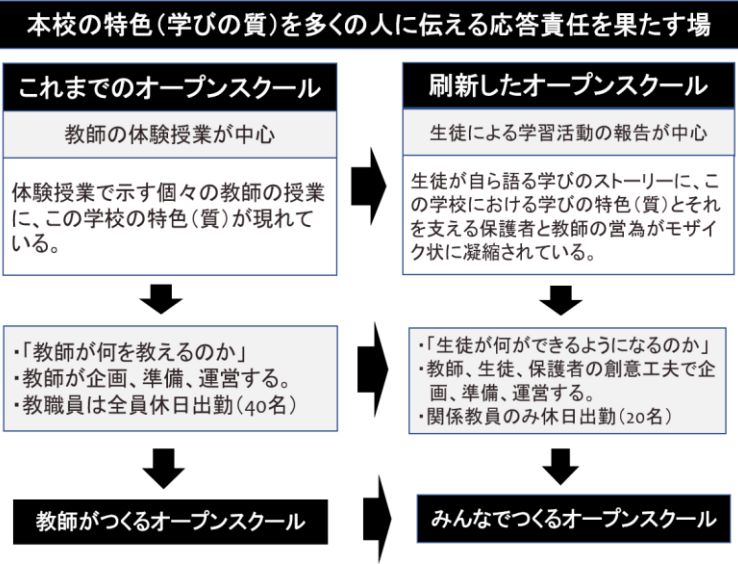


表 1 量的成果

	これまでのオープンスクール	刷新したオープンスクール
事業広報部の教員数	6 名	5 名
事前準備に要した時間	120 時間	20 時間
当日出勤教職員数	46 名	20 名(うち 5 名は半日出勤)
学校説明会参加者数 *	810 名(保護者のみ、児童含まず)	815 名(保護者のみ、児童含まず)
グループ相談会	なし	160 名
保護者カフェ	なし	136 組(1 組 2～4 名)
* 保護者で実数を把握している。児童の参加者数は 200～300 名程度であり、それを加えると両方、約 1000 名程度の参加者数となる。		

写真 1 生徒による報告



写真 2 保護者カフェ

